

「第二期鳴門市教育振興計画（素案）」について

意見募集に対する結果公表

1 募集結果

募集期間	平成27年12月14日（月）から平成28年1月13日（水）
意見等提出者数	3人
提出件数 （提出方法内訳）	6件 （郵便 通、FAX 通、E-mail 3通、直接持参 通）
意見等の反映状況	A 意見等を計画等に反映するもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 0件
	B 意見等が既に反映されているもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件
	C 意見等を今後の参考とするもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件
	D 意見等を反映する見込みのないもの・・・・・・・・・・・・ 0件

2 意見等の分類

項 目	件 数
計画全体	1件
第1章「計画の策定にあたって」	0件
第2章「本市の教育の現状」	0件
第3章1「基本理念」	1件
2「期待される役割」	0件
3「基本目標」	0件
4「施策体系」	0件
第4章1「特色ある教育の推進」	2件
2「自ら学ぶ力を育む教育の推進」	2件
3「豊かな心を育む教育の推進」	0件
4「健やかな身体を育む教育の推進」	0件
5「郷土愛を育む教育の推進」	0件
6「まちぐるみの教育の推進」	0件

3 意見等と市の考え方

計画全体に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	<p>子どもの教育に重要な、教育を担う先生方の心のゆとりについての記載がなかったように思う。</p> <p>子どもたちのための取り組みが増えることはありがたいが、先生の負担を増やすことにつながり、先生方が時間に追われ授業の準備が十分にできない状況に陥ってしまえば本末転倒だと思う。</p> <p>先生方の事務負担が少しでも減るような鳴門市独自の施策があれば、「教育を重視する自治体」としての独自性が示せるのではないか。</p>	<p>教育振興計画審議会の中でも、それぞれの主体が孤軍奮闘するのではなく、関係者が連携・協働して進めることが大切であるというご意見をいただき、今回の基本理念として「共育」、基本目標6として「まちぐるみの教育の推進」を掲げております。</p> <p>ご意見のとおり、子どもの教育にとって教員は重要な役割を担っていますので、新たな取組によって教員に過度の負担が生じないように、家庭、学校、地域、行政が連携・協働を基本に施策を進めて参ります。</p>	B

第3章第1「基本理念」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	<p>「教師が育ち」に違和感がある。教師が育つより前に地域が育つ方が前提でないか。</p> <p>教師が育つということは当たり前のことであり、振興計画に盛り込むのではなく振興計画の基本理念にある、「教育に関わるすべての人」の中に入ってしかるべきで、今の社会情勢の中では、子どもが育ち、家庭が育ち、子どもを取り巻く社会、すなわち地域が育ち、が普通の考え方だと思う。</p> <p>教師を育てるのは研修や研究などで知識を学ぶことと、実践経験を積み、より良い教師に育っていくものであり、行政、教育委員会の責務として行わなければならないのではないか。</p>	<p>基本理念の「共育」は教育をきっかけとして、すべての人とまちが共に育つことを目指しています。共に育つ過程や順序は明記しておりませんが、それぞれの主体が相互に関わり合う中で、お互いが育ち合うという同時進行的なものと考えています。</p> <p>ご意見のとおり「教育に関わるすべての人」には、「子どもたち」も「親」も「教師」も含まれますが、これらは「教育に関わるすべての人」に含まれる人の例としてお示したものです。</p> <p>基本理念に基づき、それぞれの主体が期待される役割を果たしていくことが前提ですので、教育委員会としては、第4章基本計画の各施策【主な取組】の中でお示したとおり、研修や実践を通じてより良い教員の育成と資質向上を図って参ります。</p>	B

第4章1「特色ある教育の推進」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	郷土の歴史や特徴を知り、かつ英語の能力もアップするようにするために、知りえた情報を英語にして、海外から来た人に鳴門のよさを説明できるようにするための授業をしたらどうか。	(4) 外国語教育・国際理解教育の推進の中で、本市の特色として小中学校を通じた外国語教育・国際理解教育を進めることとしております。外国語教育と郷土教育を進める上での授業に関する具体的なご意見をいただきましたが、今後の参考とさせていただきます。	C
2	安心して勉強できる環境づくりとして、津波避難場所をもっと増やす、もしくは十分な設備の設置をしたほうが良いと思う。	(1) 安全で快適な教育環境の整備の中で、学校の耐震化をはじめとした施設整備を進めることとしており、校舎が津波避難ビルに指定されている学校もあります。また、災害に備えヘルメット等の防災資機材を幼小中学校へ配置しており、継続して学校の防災・危機管理機能強化に努めます。	B

第4章3「自ら学ぶ力を育む教育の推進」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	徳島市内と鳴門市内の高校の格差（具体的には国立大学進学者数の差）があり、他の点では住みよい町でも高校大学進学を考えて別の市に転居される方も多し。もっと高校のレベルアップをすべき。	(1) 学習指導の充実①学力向上の推進の中で、小中学校を通じて子どもたちの学力向上に向けた取組をさらに進めることとしております。鳴門市内の高校は、いずれも県立学校ですので、いただいたご意見は県教委への要望等を含め今後の参考とさせていただきます。	C
2	全国一斉テストで平均より低いということについて、中学3年だけ補習授業をするのではなく、1年生から行ったらどうか。先生方の負担があるのであれば、シルバー人材を利用してはどうか。	昨年12月に平成27年度全国学力・学習状況調査の鳴門市の結果の概要について、公式ウェブサイトを通じて公表するとともに、市内小中学校の児童生徒の保護者へ概要をお知らせさせていただきました。学力向上に向けた具体的な取組としては、学力向上のための検討組織において検討・実施することとしておりますので、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。	C